

1. あるところに、優しいお父さんと、ちょっと遠慮がちな息子がいました。息子はいつでも遠慮がちで、何も欲しがろうとはしません。

2. 父「何か欲しいものはないのかい？何でも買ってあげるよ。必要なものがあるだろう？  
なあ、お父さんに何でも言ってごらん」

息子「いいえお父さん、ボクは何も欲しいものはありませんよ。せっかくですがご遠慮します。」

3. 父「そうだ、おもちゃを買ってあげよう。かわいいくまさんのぬいぐるみを買ってあげよう。」

息子「お父さん、ボクはもうそんなに小さな子供じゃありませんよ。せっかくですがご遠慮します。」

4. 父「そうだ、自転車ならどうだ？どこでも自由に行けて、自転車は楽しいぞ〜！」

息子「お父さん、自転車は危ないので好きではありません。せっかくですがご遠慮します。」

5. 父「それじゃあ、家を買ってあげよう。家なら満足だろう？」

息子「お父さん、お父さんはそう言ってボクに家を5件も買ってくれたじゃありませんか。  
もうこれ以上は必要ありませんよ。せっかくですが、ご遠慮いたします。」

6. お父さんは、息子があんまりにも遠慮ばかりするので、さびしくなってしまう、泣いてしまいました。

父「私はあの子に、何でも言って欲しいんだ。でもあの子は、私には何も言ってくれない。私は、そんなにも信用されていないんだな…。私はダメな父親だ。ああ、さびしい、さびしいなあ…。」

これをそっと聞いていた息子はビックリ！お父さんがそんなに悩んでいたとは知らなかったのです。

7. 息子「お父さん、ボク…実はクラリネットが欲しいんだ。だってこの前、ユーオーディアの人たちが来て、かつこよかったんだもん。お父さん、ボクにクラリネットを買ってくれる？」

8. これを聞いたお父さんは、飛び上がって喜びました！ようやくこの息子が心を開いて、本当のことを言ってくれたからです。

それからというもの、お父さんと息子の絆はより深まったのでした。

9. 「求めなさい。そうすれば与えられます。」マタイ7:7

神様は、あなたがどんどん神様に祈って求めていくことを願っておられますよ。神様の前に遠慮なんて、まったく必要ないんです。神様を信頼して、お祈りしましょう。おしまい